

▼アデラビン9号注 [注] <202503 販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】 フラビンアデニンジヌクレオチド+肝臓エキス 【分類】 肝臓抽出製剤

【単位】 ▼1mL/A, ▼2mL/A

【常用量】 1～2mL/日

【用法】 1日1～2回、筋注または静注■急速な静脈内投与により一過性の胸部不快感、血圧低下、房室ブロックを起こすことがあるので、補液で希釈して投与するなどできるだけゆっくり投与

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献ないが減量の必要はないと思われる (5)

【保存期 CKD患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献ないが減量の必要はないと思われる (5)

【特徴】 核酸成分を含む肝臓エキスと FAD (活性型 VB2) を含有。肝血流、肝内組織酸素分圧を高め、肝内の各種代謝機能を高める。臨床的には慢性肝疾患、とくに肝硬変に対しその臨床効果が確認されている。

【主な副作用・毒性】 ショック、過敏症、悪心、嘔吐、胸部不快感、血圧低下など

【tmax】 0.17hr

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない

【更新日】 20240409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。